



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称	富士宮東高等学校管理普通教室棟	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----	-----

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5	ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

## 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目								
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点			3.5					
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①ダブルスキンの採用による開口部の温熱環境の向上。 ②ライトシェルフの採用。		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 軸体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔								
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大木の建物廻り再配置により外構緑地指數50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上								
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制								
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下軸体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雜排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築軸体等の継続使用 2.3 ⑫ 軸体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 軸体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒								
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。		LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善								
<b>"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)</b>		得点			3.0					
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯制振装置の採用。		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備								
<b>"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点			3.3					
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯パリアフリー法誘導基準相当の計画とした。		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑰ 階高のゆとり 3.1.2 ⑰ 空間の形状・自由さ								
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。		Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上								
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点			2.5					
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ⑳敷地内既存大木の建物廻り再配置により外構緑地指數50%以上を確保した。 ⑳緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。		Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出 2 ⑳ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑳ 敷地内温熱環境の向上								
■敷地外環境対策 (㉓持続可能な森林から産出された木材/㉔温熱環境悪化の改善) ㉓静岡県産材の使用比率が〇%。 ㉔外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。		LR-2 2 2.5 ㉓ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ㉔ 温熱環境悪化の改善								